

議事概要

藤沢市政策会議を次のとおり開催した。

会議名	平成30年度第1回 政策会議
開催日	2018年(平成30年)4月11日(水) 8:30~9:42
場 所	本庁舎3階 庁議室
出席者	鈴木市長, 小野副市長, 宮治副市長, 平岩教育長 (政策会議委員) 総務部長, 企画政策部長, 財務部長, 防災安全部長, 市民自治部長, 生涯学習部長, 福祉健康部長, 保健所長, 子ども青少年部長, 環境部長, 経済部長, 計画建築部長, 都市整備部長, 道路河川部長, 下水道部長, 市民病院事務局長, 消防局長, 教育次長, 教育部長, 議会事務局長, 監査事務局長, 農業委員会事務局長, 選挙管理委員会事務局長
議 事	(1) 議題(審議事項) 1 平成30年度藤沢市役所「働き方改革」の取組について(総務部) 2 平成30年度6月補正予算の編成方針について(財務部) (2) 報告・情報提供等 ア 「藤沢市市政運営の総合指針2020」事業集(平成30年度版)について(企画政策部) イ 藤沢市将来人口推計について(企画政策部) ウ 平成30年度防災訓練計画及び地震・津波対策における配備体制(案)について(防災安全部)
内 容	1 開会 2 市長あいさつ 3 議事 (1) 議題(審議事項) 1 平成30年度藤沢市役所「働き方改革」の取組について (説明者:総務部長) □総務部長から, 資料に基づき概要説明が行われた。 《内容》 平成29年度からスタートした「働き方改革」の取組について, 平成29年度の取組状況及び各課からの意見等を踏まえ, 平成30年度は一部見直しを行い, 引き続き実施することについて報告するもの。 《主な意見等》 ○行財政改革の取組の一つでもあるが, BPRの推進による業務の効率化について, 各部局長は職員からの意見をよく聴き, 業務の必要

<p>内 容</p>	<p>性, 業務手順の見直しなど省けるものは省くという柔軟な対応をしていただきたい。</p> <p>○横浜市でテレワーク(在宅勤務制度)が始まっているとのことだが, どんな分野で実施をしているか伺いたい。</p> <p>⇒報道によると, 横浜市は制度の問題点をさぐるため, 子育てや介護などの事情により時間的な制約を抱える職員を対象に試行実施している。現在調査中のため, 今後研究していきたい。</p> <p>2 平成30年度6月補正予算の編成方針について (説明者: 財務部長)</p> <p>□財務部長から, 資料に基づき概要説明が行われた。</p> <p>≪内容≫ 平成30年度6月補正予算の編成に当たり, 6月補正予算編成方針について報告するもの。</p> <p>≪主な意見等≫ ○6月補正予算については, 当初予算成立間もないため, 原則として補正は行わないものである。予算は総計主義により, 全ての歳入, 歳出は当初予算で計上されており, 6月補正の財源は留保されていないというのが原則である。ただし, 当初予算成立後に生じた特別な理由等により, 緊急に補正を要する事業については, 財政課と協議の上, 要求を行っていただきたい。</p> <p>(2) 報告・情報提供等</p> <p>ア 「藤沢市市政運営の総合指針2020」事業集(平成30年度版)について (説明者: 企画政策部長)</p> <p>□企画政策部長から, 資料に基づき情報提供が行われた。</p> <p>≪内容≫ 「藤沢市市政運営の総合指針2020」事業集(平成30年度版)を取りまとめたので情報提供するもの。</p> <p>≪主な意見等≫ なし。</p> <p>イ 平成29年度藤沢市将来人口推計について (説明者: 企画政策部長)</p> <p>□企画政策部長から, 資料に基づき情報提供が行われた。</p>
------------	--

<p>内 容</p>	<p> ≪内容≫ 2015年に実施された国勢調査に基づいて推計した「藤沢市将来人口推計」について報告するもの。 ≪主な意見等≫ ○13地区別の将来人口推計において、前回の2013年度将来人口推計とかい離している地区がある。藤沢地区、遠藤地区などはあまり変わっていないようだが、善行地区などはい離が確認できる。今後、地区ごとの分析内容は示されるのか。 ⇒善行地区では、前回の推計は、2005年から2010年までの国勢調査の傾向を反映したものであったが、今回は、2010年から2015年の傾向を反映したところ、この結果になった。必要であれば、もう少し詳しい分析内容は示すこともできる。 ○西暦、和暦の表記を統一した方がよい。また、各表に基本となる国勢調査年度を表記した方がよい。 ⇒修正する。 ○宅地開発要素を見込んでいるとのことだが、どの地区を、どの程度見込んだかは資料提供できるか。 ⇒資料提供できる。 ○記者発表に当たり、各部局で将来の政策にどのような影響があるのか議論を深めるとともに、コメントを準備していただきたい。 ○例えば65歳以上の高齢者、75歳以上の高齢者とあるが、認知症は、80代からが多い。各部局において、詳細なデータを意識していただきたい。 ○また、歳入や就労支援など、働く世代の詳細なデータについて、経済部などは、どうこの結果を評価するのか、コメントを準備いただきたい。 ウ 平成30年度防災訓練計画及び地震・津波対策における配備体制（案）について <div style="text-align: right;">（説明者：防災安全部長）</div> <input type="checkbox"/> 防災安全部長から、資料1～3に基づき情報提供が行われた。 ≪内容≫ 平成30年度に実施を予定している各種防災訓練日程及び災害時配備体制（地震・津波・風水害・都市災害等）について説明するもの。 ≪主な意見等≫ </p>
------------	---

<p>内 容</p>	<p>○資料4 ページの各指揮本部図上訓練について、各指揮本部は発災時に主体的に判断し、かつ具体的に行動しなければならない。各指揮本部で、実際に行動できるよう体制を確立・構築していただきたい。また、各指揮本部図上訓練についても同様に実施いただきたい。</p> <p>○自動参集だと、夜間、報道等に気付かないことも考えられる。災害情報収集に、便利なサイトなどの一覧を作成し、提供いただきたい。</p> <p>⇒資料2 の配備体制資料に災害情報のアプリ等の活用をお願いしている。</p> <p>⇒その他災害情報の収集に当たり、活用できるサイトなどもある。周知したい。</p> <p>4 その他</p> <p>○パブリシティについて、資料配布させていただいた。これまでも周知しているがリスク発生時の初動やその後の適切な対応を行う上でも、改めて確認いただきたい。</p> <p>5 閉会</p>
------------	---